会

議

午前10時 0分開会

○議長（竹内清二君） おはようございます。

ただいまの出席議員は定足数に達しております。よって、平成30年3月下田市議会定例会は成立いたしましたので、開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

本日の会議開催に当たり、欠席したい旨の届け出のありました議員は、2番 進士濱美君、8番 鈴木 敬君、12番 森 温繁君であります。

ただいまより議会運営委員会を開催いたしますので、委員の方は第1委員会室にお集まりください。

ここで暫時休憩いたします。

午前10時 1分休憩

午前10時 6分再開

○議長（竹内清二君） 休憩を閉じ会議を再開いたします。

◎会期の決定

○議長（竹内清二君） 日程により、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。

今期定例会の会期は、本日より3月16日までの17日間といたしたいと思っております。これにご異議はございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（竹内清二君） ご異議はないものと認めます。

よって、会期は17日間と決定いたしました。

なお、会期中の会議予定につきましては、お手元にご通知いたしました案のとおりでありますので、ご承知願います。

◎会議録署名議員の指名

○議長（竹内清二君） 次は、日程により、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第85条の規定により、議長において、7番 大川敏雄君と9番 伊藤英雄君の両名を指名いたします。

◎諸般の報告

○議長（竹内清二君） 次は、日程により、諸般の報告を申し上げます。

最初に、覚書締結式について申し上げます。

2月26日、アメリカ合衆国サーフィン競技代表選手の2020年東京オリンピック事前キャンプに関する覚書締結式に、関係市等の方々と出席をいたしました。

次に、今定例会に市長から提出議案の送付と、説明員として出席する旨の通知がありましたので、係長をして朗読いたさせます。

○庶務兼議事係長（高橋智江君） 朗読いたします。

下総行第21号。平成30年2月28日。

下田市議会議長、竹内清二様。静岡県下田市市長、福井祐輔。

平成30年3月下田市議会定例会議案の送付について。

平成30年2月28日招集の平成30年3月下田市議会定例会に提出する議案を別紙のとおり送付いたします。

付議事件。

議第10号 平成29年度下田市一般会計補正予算（第9号）、議第11号 平成29年度下田市公共用地取得特別会計補正予算（第1号）、議第12号 平成29年度下田市国民健康保険事業特別会計補正予算（第5号）、議第13号 平成29年度下田市下水道事業特別会計補正予算（第3号）、議第14号 平成29年度下田市水道事業会計補正予算（第4号）、議第15号 指定金融機関の指定について、議第16号 字の区域の変更について、議第17号 下田市指定居宅介護支援等に係る事業者の指定に関する基準並びに事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の制定について、議第18号 下田市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について、議第19号 下田市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について、議第20号 下田市子ども医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について、議第21号 下田市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について、議第22号 下田市国民健康保険診療報酬支払準備基金の設置、管理及び処分に関する条例の全部を改正する条例の制定について、議第23号 下田市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について、議第24号 下田市介護保険条例の一部を改正する条例の制

定について、議第25号 下田都市計画再開発地区計画武ガ浜地区再開発地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について、議第26号 下田市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について、議第27号 下田市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について、議第28号 下田市都市公園の設置基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について、議第29号 下田市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について、議第30号 平成30年度下田市一般会計予算、議第31号 平成30年度下田市稲梓財産区特別会計予算、議第32号 平成30年度下田市下田駅前広場整備事業特別会計予算、議第33号 平成30年度下田市公共用地取得特別会計予算、議第34号 平成30年度下田市国民健康保険事業特別会計予算、議第35号 平成30年度下田市介護保険特別会計予算、議第36号 平成30年度下田市後期高齢者医療特別会計予算、議第37号 平成30年度下田市集落排水事業特別会計予算、議第38号 平成30年度下田市下水道事業特別会計予算、議第39号 平成30年度下田市水道事業会計予算。

下総行第22号。平成30年2月28日。

下田市議会議長、竹内清二様。静岡県下田市市長、福井祐輔。

平成30年3月、下田市議会定例会説明員について、平成30年2月28日招集の平成30年3月、下田市議会定例会に説明員として下記の者を出席させるので、通知いたします。

市長 福井祐輔、副市長 土屋徳幸、教育長 佐々木文夫、会計管理者兼出納室長 河井長美、統合政策課長 黒田幸雄、総務課長 井上 均、教育委員会学校教育課長 土屋 仁、教育委員会生涯学習課長 土屋佳宏、防災安全課長 高野茂章、税務課長 日吉由起美、監査委員事務局長 土屋紀元、観光交流課長 佐々木雅昭、産業振興課長 長谷川忠幸、市民保健課長 永井達彦、福祉事務所長 土屋悦子、建設課長 白井達哉、上下水道課長 鈴木光男、環境対策課長 鈴木芳紀。

以上でございます。

○議長（竹内清二君） 以上で諸般の報告を終わります。

◎議第10号～議第14号の上程・説明・質疑・討論・採決

○議長（竹内清二君） 次は、日程により、議第10号 平成29年度下田市一般会計補正予算（第9号）、議第11号 平成29年度下田市公共用地取得特別会計補正予算（第1号）、議第12号 平成29年度下田市国民健康保険事業特別会計補正予算（第5号）、議第13号 平成29年度下田市下水道事業特別会計補正予算（第3号）、議第14号 平成29年度下田市水道事業

会計補正予算（第4号）、以上5件を一括議題といたします。

当局の説明を求めます。

総務課長。

○総務課長（井上 均君） おはようございます。

それでは、議第10号 平成29年度下田市一般会計補正予算（第9号）から、議第13号 平成29年度下田市下水道事業特別会計補正予算（第3号）まで、一括してご説明申し上げます。

ピンク色の補正予算書と補正予算の概要のご用意をお願いいたします。

初めに、議第10号 平成29年度下田市一般会計補正予算（第9号）についてご説明申し上げます。

3月の補正予算の主な内容でございますが、年度末を控え事業の終了見込みによる歳入歳出の調整が主な要因でございますが、緊急性のあるもの、ふるさと応援寄附受入金の増額に係る基金積み立て、あわせて繰越明許費、債務負担行為、地方債の追加変更を計上するところでございます。

それでは、補正予算書の1ページをお開きください。

平成29年度下田市の一般会計補正予算（第9号）は、次に定めるところによるもので、第1条の歳入歳出予算の補正でございますが、第1項は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ4,081万5,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ106億8,569万9,000円とするものでございます。

第2項は、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」によるということで、補正予算書の2ページから7ページ記載のとおりでございますが、内容につきましては、後ほど補正予算の概要によりご説明申し上げます。

第2条の債務負担行為の補正でございますが、債務負担行為の変更は、「第2表 債務負担行為補正」によるということで、補正予算書の8ページをお開きください。

今回、債務負担行為の変更は3件で、1件目は、新庁舎建設設計監理等業務委託料で、期間、事業予定額の変更はなく、「限度額のうち平成29年度予算計上額2,675万円を超える金額1億1,367万6,000円については平成30年度以降において支払う」を、「平成29年度予算計上額を見送り、平成29年度において締結し平成30年度以降において支払う」に変更するもの。

2件目は、可燃ごみ収集業務委託料で、期間の変更はなく、限度額のうち事業予定額1億2,520万円、平成29年度予算計上額120万円を超える金額1億2,400万円を事業予定額8,336万

8,000円、平成29年度予算計上額120万円を超える金額8,216万8,000円に変更するもの。

3件目は、下田市営じん芥処理場長期包括委託調査及び支援業務委託料で、期間の変更はなく、限度額のうち事業予定額1,000万円、平成29年度予算計上額350万円を超える金額650万円を事業予定額905万2,000円、平成29年度予算計上額255万2,000円を超える金額650万円に変更するものでございます。

1ページにお戻りいただきたいと思えます。

第3条でございます。地方債の補正でございますが、地方債の変更は「第3表 地方債補正」によるということで、補正予算書の9ページをお開きください。

補正予算の変更は5件でございます。

1件目は、災害情報管理システム整備事業で、限度額430万円を410万円に変更するもの。

2件目は、新庁舎建設事業で、債務負担行為設定の平成29年度事業費が翌年度となったため、借入れを見送るもの。

3件目、県単道路整備事業で、地方債対象額が民間資金割り振りで高利となることが予想され、また、交付税措置もない起債のため借入れを見送るもの。

4件目は、県営街路整備事業で、県施行の用地・物件補償の交渉難航による県営街路整備事業負担金の減が対象外となったことに伴い、地方債対象額が少額となったため、借入れを見送るもの。

5件目は、公共河川・道路橋梁施設災害復旧事業で、限度額1,080万円を660万円に変更するもの。

以上、1件目及び5件目の変更の要因は、事業費の確定によるもので、起債の方法、利率、償還の方法に変更はございません。

続きまして、1ページにお戻りいただき、第4条の繰越明許費の補正でございます。

繰越明許費の追加は、「第4表 繰越明許費補正」によるということで、補正予算書の10ページをお開きください。

繰越明許費に係る事業は2件で、1件目は、7款土木費、5項都市計画費、県営街路事業負担事務で、金額は620万3,000円でございます。

2件目は、10款災害復旧費、2項土木施設災害復旧費、公共道路橋梁施設災害復旧事業（10月22日災）で、金額は509万9,000円でございます。

以上2件につきまして、年度内に完了する見込みがつかないため、繰り越しをさせていただくものでございます。

それでは、補正予算書の内容について、補正予算の概要のほうでご説明をさせていただきたいと思いますので、ご用意をお願いしたいと思います。

まず、歳入でございます。

2 ページ、3 ページをお開きください。

統合政策課関係、14款2項1目1節結婚新生活支援事業費補助金90万円の減額は、結婚新生活支援事業費の見込み減、16款1項2目1節総務費寄附金1,900万円の減額は、ふるさと応援基金への受入金額の減、17款2項1目3節ふるさと応援基金繰入金460万円の減額は、平成29年度充当先事業費の確定に伴うふるさと応援基金繰入金の減、19款4項4目20節雑入78万6,000円の増額は、地域公共交通会議負担金受入金でございます。

総務課関係、13款2項1目1節国庫・社会保障・税番号制度整備事業費補助金50万2,000円の減額は、補助金交付確定に伴うもの、20款1項1目1節防災対策費20万円の減額から、同6目1節現年発生補助災害復旧事業債420万円までの減額、合計4,730万円の減額は、事業費確定等によるものでございます。

税務課関係、1款1項1目1節市民税・個人・現年課税分1,510万円の増額から、同7項1目2節都市計画税滞納繰越分120万円までの増額、合計6,270万円の増額は調定の増減及び徴収実績の増によるもの、14款3項1目1節県費・徴税费委託金199万4,000円の増額は、県税徴収委託金交付確定に伴うもの。

4 ページ、5 ページをお開きください。

19款1項1目1節延滞金1,000万円の増額は、延滞金徴収実績の増によるものでございます。

防災安全課関係、14款2項1目3節県費・緊急地震・津波対策等交付金345万7,000円の減額は、対象事業費の確定精算、16款1項2目1節総務費寄附金500万円の増額は、防災基金（ふるさと納税分）への受入額の増、19款4項4目20節雑入126万3,000円の減額は、市町村振興協会地震・津波対策事業交付金で、対象事業費の確定精算でございます。

福祉事務所関係、16款1項3目1節社会福祉費寄附金700万円の増額は、ほのぼの福祉金（ふるさと納税分）への受入額の増、同3節児童福祉費寄附金1,150万円の増額は、ふるさと応援寄附受入額の増に係る子育て支援基金受け入れほか、17款2項1目6節子育て支援基金繰入金10万円の減額は、平成29年度充当先事業費の確定に伴う子育て支援基金繰入金の減でございます。

環境対策課関係、14款2項3目2節県費・環境対策費補助金49万9,000円の増額は、浄化

槽設置整備事業に係る対象事業費の確定精算、17款1項5目1節水道事業会計繰入金26万2,000円の増額も浄化槽設置整備事業に係る対象事業費の繰り入れ精算でございます。

産業振興課関係、13款2項4目1節国庫・林業費補助金27万円の減額は、美しい森林づくり基盤整備交付金の交付確定に伴うもの、14款2項4目1節県費・農業費補助金2万9,000円の減額は、機構集積支援事業及び農地利用最適化交付金の交付確定に伴うもの。

6ページ、7ページをお開きください。

14款2項4目2節県費・林業費補助金30万8,000円の減額は、交付確定に伴い、鳥獣被害防止総合対策事業の増、しずおか林業再生プロジェクト推進事業の皆減及び県単独森林病虫害総合対策事業で松くい虫防除業務の追加、15款2項3目1節株式清算収入58万1,000円の増額は、下田TMO株式会社の解散に伴い、出資配分に応じた清算金の追加、16款1項4目1節林業費寄附金200万円の増額は、みどりの基金（ふるさと納税分）への受入金の増、19款4項4目20節雑入8万3,000円の減額は、県単独森林病虫害総合対策事業補助の活用により、静岡県グリーンバンク優良景観樹木保全事業助成金の減でございます。

観光交流課関係、14款2項5目2節県費・観光施設整備費補助金500万円の増額は、春日山遊歩道整備事業が、補助率3分の2のジオ加算対象となったことによる観光施設整備事業補助金交付確定に伴うもの、16款1項5目1節観光費寄附金1,000万円の増額は、世界一の海づくり基金（ふるさと納税分）への受入額の増でございます。

建設課関係、11款1項1目1節住宅費分担金80万7,000円の減額は、急傾斜地崩壊対策事業に係る対象事業費の確定精算、13款1項2目1節国庫・土木施設災害復旧費負担金799万6,000円の減額は、平成29年災河川災害及び平成29年災道路橋梁災害に係る交付確定に伴うもの、16款1項6目1節住宅費寄附金45万円の減額は、急傾斜地崩壊対策事業の確定、同2節都市計画費寄附金600万円の増額は、景観まちづくり基金（ふるさと納税分）への受入額の増でございます。

学校教育課関係、16款1項7目1節教育費寄附金450万円の増額は、教育費寄附金、教育振興基金（ふるさと納税分）、奨学振興基金（ふるさと納税分）への受入金の増でございます。

8ページ、9ページをお開きください。

歳出でございます。

統合政策課関係、2款1項5目0172広報事業74万5,000円の減額は、印刷製本費の不用額を減、同8目0240地域振興事業120万円の減額は、下田市結婚新生活支援事業費補助金の見

込み減、同0241公共交通推進事業23万4,000円の減は、下田市自主運行バス事業補助金で、交付確定に伴うもの、同15目0225新庁舎等建設事業3,235万円の減額は、新庁舎建設設計監理等業務謝礼の皆減、過去の地質ボーリング調査の活用により、新庁舎等建設調査業務委託の減及び新庁舎建設設計監理等業務委託（新規）を次年度に見送るもの、同20目0405ふるさと応援基金1,220万円の増額は、ふるさと応援寄附受入金及び返礼品割り振りによるふるさと応援基金積立金でございます。

総務課関係、2款1項3目0140行政管理総務事務247万2,000円の減額は、補正内容等の欄に記載のとおり執行経費の減、同7目0142庁舎管理事業29万円の減は、警備委託夜間等、長期継続の不用額を減、同9項1目0910電算処理総務事業1,971万2,000円の減額は、補正内容等の欄に記載のとおり委託経費の減、同0920ネットワーク推進事業31万9,000円の減額は、庁内LAN用パソコン購入の不用額を減、12款1項1目一般会計予備費1億5,466万8,000円の増額は、歳入歳出調整額でございます。

税務課関係、2款2項2目0470市民税課税事務31万8,000円の減額、同0471資産税課税事務40万3,000円の減額及び同0472市税徴収事務24万円の減額は、電算処理アウトソーシング等、委託経費の減、同0475賀茂地方税債権整理回収協議会推進事務23万8,000円の減額は、車両購入に係る不用額の一式の減でございます。

防災安全課関係、2款7項1目0750交通安全対策事業1万6,000円の増額は、県人事委員会勧告に伴う人権費相当の増額による静岡県交通安全指導員設置費負担金の増、同8項1目0860防災対策総務事務176万円の減額は、補正内容等の欄に記載のとおり、防災関係事業費の精算、同0861防災組織育成事業107万9,000円の減額は、防災用備品の不用額を減、同0864防災施設等整備事業49万6,000円の減額は、各測量設計業務委託の不用額を減。

10ページ、11ページをお開きください。

2款8項2目0895防災基金220万円の増額は、ふるさと応援寄附受入額及び返礼品割り振りによる防災基金積立金、8款1項2目5810消防団活動推進事業3万5,000円の減額は、防災用備品の不用額を減、同3目5860消防施設等整備事業129万6,000円の減額は、測量及び登記業務委託及び消防団ポンプ自動車購入の不用額を減額するものでございます。

福祉事務所関係、3款1項7目1150ほのぼの福祉基金210万円の増額は、ふるさと応援寄附受入額及び返礼品割り振りによるほのぼの福祉基金積立金、同2項3目1300総合福祉会館管理運営事業143万5,000円の減額は、総合福祉会館改修工事の不用額を減、同3項1目1450家庭児童相談事業25万8,000円の減額も、車両購入の不用額を減、同10目1730子育て支援基

金350万円の増額は、ふるさと応援寄附受入額等及び返礼品割り振りによる子育て支援基金積立金でございます。

市民保健課関係、3款7項1目1901国民健康保険会計繰出金984万1,000円の減額は、保険基盤安定負担金の確定による国民健康保険事業特別会計繰出金、4款1項3目2040母子保健相談指導事業250万円の減額は、妊婦健診委託の見込み減、同5目2080一部事務組合下田メディカルセンター負担事務190万4,000円の減額は、一部事務組合下田メディカルセンター負担金の精算に伴うものでございます。

環境対策課関係、4款3項4目2300焼却場管理事務94万8,000円の減額は、下田市営じん芥処理場長期包括委託調査及び支援業務委託（新規）及び同5目2380環境対策事務47万6,000円の減額は、水質検査委託の入札不用額を減、同2384浄化槽設置整備事業15万8,000円の減額は、浄化槽設置事業補助金の確定による減額でございます。

産業振興課関係、5款1項3目3104オリーブのまちづくり事業182万5,000円の減額は、地域おこし協力隊報償費、オリーブ栽培普及技術支援業務委託の見直しに伴う事業費の減、同2項1目3350林業振興事業18万4,000円の減額は、車両購入費の不用額を減、同3353有害鳥獣対策事業75万1,000円の増額は、国補助の追加交付及びわな購入費の確定に伴う鳥獣被害防止総合対策事業費補助金の増、同3目3450保健休養林管理事業115万6,000円の減額は、爪木崎自然公園花園温室耐震診断業務委託、爪木崎自然公園松くい虫防除業務委託及び転落防止柵修繕工事の入札不用額を減、同5目3550みどりの基金80万円の増額は、ふるさと応援寄附受入額及び返礼品割り振りによるみどりの基金積立金、同4項1目3700水産振興事業15万円の減額は、予定していた地びき網が天候や海の状態から実施できなかったことにより、謝礼の皆減でございます。

観光交流課関係、12、13ページをお開きください。

6款2項1目4200観光まちづくり総務事務7万5,000円の増額は、道の駅等3カ所にバイシクルピット設置に係るサイクルラック等消耗品費の増、同5目4385世界一の海づくり基金370万円の増額は、ふるさと応援寄附受入額及び返礼品割り振りによる世界一の海づくり基金積立金でございます。

建設課関係、7款1項2目4501地籍調査事業50万円の減額は、地籍調査関連測量業務委託で事業費の確定、同4項1目5101県営港湾事業負担事務1,344万1,000円の減額は、港湾整備改修事業費負担金の精算に伴うもの、同5項1目5150都市計画総務事務15万4,000円の減額は、都市計画基礎調査業務委託、同3目5200県営街路事業負担事務718万6,000円の減額は、

県施行の用地・物件補償の交渉難航による県営街路事業負担金の減、同 6 目 5465 景観まちづくり基金 200 万円の増額は、ふるさと応援寄附受入額及び返礼品割り振りによる景観まちづくり基金積立金、同 7 項 1 目 5600 市営住宅維持管理事業 12 万 7,000 円の減額は、市営住宅解体工事及び同 3 目 5630 急傾斜地対策事業 566 万 3,000 円の減額は、急傾斜地崩壊対策事業測量業務委託で事業費の確定、10 款 2 項 1 目 7301 公共河川災害復旧事業（4 月 18 日災）540 万円の減額は、測量業務委託、公共河川災害復旧工事及び同 2 目 7360 公共道路橋梁施設災害復旧事業（10 月 22 日災）650 万円の減額は、公共道路橋梁施設災害復旧工事で、災害査定に伴う事業費の確定でございます。

学校教育課関係、3 款 3 項 3 目 1550 公立保育所管理運営事業 26 万 7,000 円の減額は、保育備品の不用額を減、9 款 1 項 5 目 6040 教育振興基金 20 万円の増額は、ふるさと応援寄附受入額及び返礼品割り振りによる教育振興基金積立金、同 6 目 6045 奨学振興基金 30 万円の増額は、ふるさと応援寄附受入額及び返礼品割り振りによる奨学振興基金積立金、同 2 項 1 目 6050 小学校管理事業 1,156 万 3,000 円の減額及び同 3 項 1 目 6150 中学校管理事業 15 万 3,000 円の減額は、補正内容等の欄に記載のとおり事業費の精算、同 7 項 1 目 6800 学校給食管理運営事業 283 万 7,000 円の減額は、学校給食管理システム導入委託ほか、補正内容等の欄に記載のとおり執行経費の減でございます。

生涯学習課関係、9 款 5 項 6 目 6600 図書館管理運営事業 24 万 4,000 円の減額は、下田市立図書館トイレ改修工事で事業費の確定、同 6 項 2 目 6750 吉佐美運動公園管理運営事業 100 万円の減額は、修繕料及び同 8 項 1 目 6900 市民文化会館管理運営事業 263 万 8,000 円の減額は、移動用音響機材（スピーカーシステム）で、事業費の確定でございます。

以上、大変雑駁な説明ではございますが、議第 10 号 平成 29 年度下田市一般会計補正予算（第 9 号）の説明を終わらせていただきます。

続きまして、議第 11 号 平成 29 年度下田市公共用地取得特別会計補正予算（第 1 号）についてご説明を申し上げます。

補正予算書の 43 ページをお開きください。

平成 29 年度下田市の公共用地取得特別会計補正予算（第 1 号）は、次に定めるところによるもので、第 1 条の歳入歳出予算の補正でございますが、第 1 項は既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ 17 万 1,000 円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ 319 万 1,000 円とするものでございます。

第 2 項は、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入

歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」によるということで、補正予算書の44ページから47ページ記載のとおりでございますが、内容につきましては、補正予算の概要によりご説明を申し上げます。

それでは、補正予算の概要14、15ページをお開きください。

まず、歳入でございます。

1款1項1目1節市有地貸付収入17万1,000円の増額は、下田公園隣接地の一時貸付料の追加でございます。

歳出でございます。

2款1項1目8210土地開発基金操出金17万1,000円の追加は、市有地貸付収入を土地開発基金への積み立てとして繰り出すものでございます。

以上、大変雑駁な説明ではございますが、議第11号 平成29年度下田市公共用地取得特別会計補正予算（第1号）の説明を終わらせていただきます。

続きまして、議第12号 平成29年度下田市国民健康保険事業特別会計補正予算（第5号）についてご説明を申し上げます。

補正予算書の59ページをお開きください。

平成29年度下田市の国民健康保険事業特別会計補正予算（第5号）は、次に定めるところによるもので、第1条の歳入歳出予算の補正でございますが、第1項は、既定の歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ5,882万2,000円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ41億3,042万8,000円とするものでございます。

第2項は、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」によるということで、補正予算書の60ページから63ページ記載のとおりではございますが、内容につきましては、補正予算の概要によりご説明申し上げますので、お手数ですが補正予算の概要16、17ページをお開きください。

まず、歳入でございます。

1款1項1目4節一般被保険者国民健康保険税医療給付費分滞納繰越分800万円の増額は、徴収実績の増によるもの、3款1項2目1節国庫・高額医療費共同事業負担金、同3目1節国庫・特定健康診査等負担金の減額及び同2項2目1節国庫・国民健康保険災害臨時特例補助金の増額は、国庫交付確定に伴うもの、6款2項1目1節県費・高額医療費共同事業負担金及び同2目1節県費・特定健康診査等負担金の減額は、県負担金の確定に伴うもの、7款

1 項 1 目 1 節高額医療費共同事業交付金・現年度分及び同 2 目 1 節保険財政共同安定化事業交付金・現年度分の減額は、交付金の確定に伴うもの、9 款 1 項 1 目 4 節財政安定化事業繰入金984万1,000円の減額は、保険基盤安定に係る一般会計からの財政安定化事業繰入金の確定、11款 1 項 1 目 1 節一般被保険者延滞金500万円の増額は、徴収実績の増に伴うもの、同 4 項 1 目 1 節一般被保険者第三者納付金163万3,000円の増額は、納付金の確定に伴うものでございます。

18、19ページをお開きください。

6 款 1 項 1 目8460介護納付金の減額、7 款 1 項 1 目8470高額医療費共同事業医療費拋出金の減額及び同項 2 目8471保険財政共同安定化事業拋出金の減額は納付金の確定に伴うもの、8 款 1 項 1 目8480特定健康診査・保健指導事業823万2,000円の減額は、健康診査委託及び特定健診実施計画等策定業務委託の不用額を減、11款 1 項 3 目8530国民健康保険償還事務489万3,000円の減額は、前年度退職者医療・療養給付費超過交付金返還金の確定、12款 1 項 1 目予備費3,020万1,000円の増額は、歳入歳出調整額でございます。

以上、大変雑駁な説明ではございますが、議第12号 平成29年度下田市国民健康保険事業特別会計補正予算（第5号）の説明を終わらせていただきます。

続きまして、議第13号 下田市下水道事業特別会計補正予算（第3号）についてご説明を申し上げます。

補正予算書の79ページをお開きください。

平成29年度下田市の下水道事業特別会計補正予算（第3号）は、次に定めるところによるもので、第1条の歳出予算の補正でございますが、歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳出予算の金額は、「第1表 歳出予算補正」によるということで、補正予算書の80、81ページ記載のとおりでございますが、内容につきましては、後ほど補正予算の概要によりご説明申し上げます。

第2条の繰越明許費でございます。地方自治法第213条第1項の規定により翌年度に繰り越して使用することができる経費は、「第2表 繰越明許費」によるということで、補正予算書の82ページをお開きください。

繰越明許に係る事業は2件で、1件目は、2款事業費、1項事業費の下水道幹線管渠築造事業で、金額は1,510万円、2件目は、2款事業費、1項事業費の下水道施設等更新事業で、金額は2,749万円、ともに年度内に完了する見込みがつかないため、繰り越しをさせていただくものでございます。

それでは、補正予算の内容についてご説明申し上げますので、補正予算の概要20、21ページをお開きください。

歳出でございます。

1 款 1 項 1 目 8800 下水道総務事務 36 万 1,000 円の減額は、消費税及び地方消費税に係る年間納税額の確定、1 款 2 項 2 目 8820 下水道施設管理事業 68 万 1,000 円の減額は、水質検査業務委託の不用額を減、4 款 1 項 1 目 予備費 104 万 2,000 円の増額は、歳入歳出調整額でございます。

以上、大変雑駁な説明ではございますが、議第 10 号 平成 29 年度下田市一般会計補正予算（第 9 号）から議第 13 号 下田市下水道事業特別会計補正予算（第 3 号）まで一括しての説明を終わらせていただきます。

よろしくご審議のほどお願い申し上げます。

○議長（竹内清二君） 上下水道課長。

○上下水道課長（鈴木光男君） それでは、水道事業会計の補正予算についてご説明申し上げます。

お手元に水色の水道事業会計予算書（補正第 4 号）のご用意をお願いします。

議第 14 号 平成 29 年度下田市水道事業会計補正予算（第 4 号）でございます。

予算書の 1 ページをお開きください。

補正第 4 号の主な内容でございますが、収益的収入及び支出の給水収益の増額見直し、消費税及び地方消費税額の増額、資本的支出におきましては、補助金返還金の発生による支出増でございます。

まず、第 1 条ですが、平成 29 年度下田市水道事業会計の補正予算（第 4 号）は、次に定めるところによるものでございます。

第 2 条は、収益的収入及び支出で、予算第 3 条を次のとおり補正するものといたしまして、収入第 1 款水道事業収益、第 1 項営業収益を 1,740 万円増額し、6 億 7,891 万 5,000 円とするものでございます。支出では、第 1 款水道事業費用、第 1 項営業費用を 26 万 2,000 円増額し、第 2 項営業外費用 721 万 5,000 円を増額するものでございます。

第 3 条は、資本的収入及び支出で、予算第 4 条本文括弧中、不足する額 3 億 429 万 9,000 円を不足する額 3 億 600 万 3,000 円に、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 2,110 万 3,000 円を当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 1,517 万 7,000 円に、減債積立金 4,659 万 6,000 円を減債積立金 5,422 万 6,000 円にそれぞれ改め、資本的支出の予定額を次の

とおり補正するものとして、第1款資本的支出、第3項その他資本的支出を170万4,000円増額するものでございます。

次に、予算に関する説明でございますが、補正予算の概要で説明させていただきます。

22ページ、23ページをお願いします。

収益的収入で、給水収益は見込み有収水量を上方修正した結果、普通給水料を1,740万円増額するものです。

収益的支出で、第1項営業費用、第1目原水及び浄水費は、浄化槽設置整備事業負担金で、浄化槽設置基数の実績に合わせて26万2,000円増額するものです。

第2項営業外費用は、第2目消費税及び地方消費税721万5,000円の増額は、付記にありますように給水収益の増に伴う仮受消費税128万9,000円の増額と、建設改良費が繰り越しを予定してまして、年度内に支出されないことにより、予算算定の仮払消費税が592万6,000円減ることで、手元に残った課税売り上げであります給水収益に対しまして直接課税されるもの、その分の合算で721万5,000円となるものです。

24ページ、25ページをお開きください。

資本的支出で、支出第1款資本的支出、第3項その他資本的支出170万4,000円の増額は、静岡県生活基盤施設耐震化等補助金に係る消費税仕入控除税額分の返還を行うもので、補助金2,299万8,000円に対するものでございます。補助金は不課税収入で、それを原資として行った工事の消費税は、納税計算の際に仮払消費税として、仕入税額控除をされてしまいますので、その分を返還するものでございます。

補正予算書の7ページに戻っていただきまして、平成29年度下田市水道事業予定貸借対照表でございます。

補正第4号の予定額を増減したもので、7ページ末尾に記載してありますように、資産合計は64億8,307万1,000円となるものでございます。

9ページをお開きください。

末尾に記載してありますように、負債資本合計は64億8,307万1,000円となり、さきの資産合計と一致して、貸借対照表は符合しているものでございます。

10ページをお願いします。

平成29年度下田市水道事業予定キャッシュフロー計算書でございます。業務活動、投資活動、財務活動の3つの区分に分け、それぞれの活動により資金がどのように増減したかを示すものであります。業務活動によるキャッシュフローが2億7,174万2,000円、投資活動によ

るキャッシュフローがマイナスの2億9,926万8,000円、財務活動によるキャッシュフローが840万6,000円となり、資金減少額が1,912万円となるものでございます。平成29年度資金期首残高2億5,666万5,000円、これから資金減少額を差し引きますと、資金期末残高が2億3,754万5,000円となるものでございます。

以上、大変雑駁な説明ではございますが、議第14号 平成29年度下田市水道事業会計補正予算（第4号）の説明を終わらせていただきます。

よろしくご審議のほどお願いいたします。

○議長（竹内清二君） 議第10号議案から議第14号議案までについて、当局の説明は終わりました。

ここで10分間休憩をいたします。

午前10時58分休憩

午前11時 8分再開

○議長（竹内清二君） 休憩を閉じ会議を再開いたします。

当局の説明は終了しております。

これより各議案ごとに質疑を行います。

まず、議第10号 平成29年度下田市一般会計補正予算（第9号）に対する質疑を許します。

13番 沢登英信君。

○13番（沢登英信君） 予算の概要のほうの3ページであります。新婚生活支援事業費が90万円減額で、歳入のほうです。歳出のほうは9ページでしょうか。上から2行目に、120万の減というぐあいになっておるわけですけれども、この内容を詳しくお尋ねをしたいと思います。

なお、補正予算書のほうの8ページの債務負担行為の補正でございますけれども、新庁舎の建設設計監理が金額は同じ、年度も29年度から30年度で金額は同じで、29年度の事業がないという、こういうことかと思うんですけれども、どういうことでこういうことになったのか、そして、なお、新庁舎の建設については、建設用地に当たりまして稲生沢中学校を使っているものか、悪いものか、わからないような形での建設計画というものは、いかがかと思うわけでありまして、したがって、中学校をどのように庁舎の建設に利用させるのか、させないのか、明確にする必要があるかと思うんですが、そういうことはありませんと、今の、前に説明してきた用地ですと、まさに国道に接していないと。最悪の用地だと、私に言わせ

れば、そういうことになってしまうんじゃないかと思しますので、こちら辺の見解もあれば、直接は出ないかもしれませんが、お尋ねをしたいと思います。

それから、ごみの収集業務についてでございますが、これは金額そのものも変わっておりますので、どのような形態になったのか、もう少し詳しくお尋ねをしたいと思いますところであります。

3番目の下田市営の処理場の長期包括委託でありますけれども、これにつきましてもやはり関連する問題として、南伊豆町、下田市、松崎町ですか、この1市2町のPFIの関連と時期的にも重なってくるんじゃないかというぐあいには思うんですが、こちら辺の関連性と、この事業の内容が変更するに当たりまして、どのような形で変わっているのか、変わっていないのか、ご説明をいただきたいと思っております。

以上です。

○議長（竹内清二君） 統合政策課長。

○統合政策課長（黒田幸雄君） まず、結婚新生活支援事業費補助金の関係でございますが、金額につきましては、120万円の減額のほうは事業費の減額で、90万円のほうは歳入のほうの県からの補助金の減額になりますけれども、関係につきましては4分の3が補助されるものでございます。

見込みにつきましては、当初見込み10件を見込んでおったものを5件に減額させていただくということでございます。

それから、あと、新庁舎の建設の建設設計監理等業務委託の2,675万円の減額について、29年度がゼロになるということのご質問かと思っておりますが、9月定例会に位置の条例の可決をお願いしたかったわけなんですけれども、これが12月定例会にずれ込みまして、その3カ月間の遅れによりまして年度内には支出が見込めない。ただ、以前もご案内申し上げましたように3月17日に業者選定のための公開プロポーザルを行いますので、契約だけはできるということで、ゼロ債務ということで本年度分については全て減額したというような流れでございます。

それから、あと、隣接の稲生沢中学の土地を使えるのか使えないのか、よくわからないような流れでいっているというようなお話かと思っておりますけれども、使えるわけなんですけれども、年度が学校統合との兼ね合いがありまして、ずれると。その中で基本的な、職員が例えば入り切れないとかというような庁舎をつくるわけにはいかないの、事業予定地で基本的な部分はカバーして、それで1年、2年遅れたとしてもどうにかなるだろうというようなも

のを、隣接地を活用して、そういうことをすることによって、事業費を少しでも軽くなるのではないかということで考えておりますので、現状の事業予定地が広過ぎるだとか、それで足りないのかとかというようなお話ではなくて、そういう形での事業展開を目指しているということでございます。

以上です。

○議長（竹内清二君） 環境対策課長。

○環境対策課長（鈴木芳紀君） 債務負担のまず、ごみ収集業務委託料のお話からさせていただきますと、債務負担の変更につきましては、契約額が確定したもので変えるものでして、平成30年、31年度にやる事業に対して、今年度に契約してやるということの額が決定しております。その額を計上して、来年度以降のものにしておるんですが、業者が変わってしまったもので、事前に準備期間としまして、引き継ぎ期間を設けておりますので、それに対して29年度予算発生するものと思っておりますけれども、この辺どうなるかわからないものですから、一応額はとってありますけれども、その辺は予定に伴って、不測な事項に対応するような感じで精算して、決算で確定したいと思っております、29年度分については、30、31年度分については、記載の額の中で契約を毎年させていただきたいという考えでおります。

続きまして、じん芥処理場の長期包括委託の関係なんですけれども、基本今これ、31年度から35年程度の5カ年に対して、焼却場の運営を委託でやっていくのか、今現状直営なんですけれども、その形態からでき得れば、人がいなくなってくることを鑑みて、委託にしていきたいという方向で、その方向性と、そうなるのであれば、今後どういう形でやり方をできるだろうかということを考えていただいている委託でございまして、今年度と来年度のものに対してやっていくものなんですけど、契約に伴いましてそれも額が決定してまして、今年度分の額が決定したもので、この補正に載せさせていただいております。

あと、それに対して広域ごみ処理との関連なんですけれども、基本は先ほど言った年度の中で、広域であっても単独であっても、それは新しい施設ができていない状態で、現施設をどうやっていこうかというお話なので、直接は関連してこないんですが、広域ごみ処理なのか単独なのかかわからないですが、次の焼却場ができる際には、今、この焼却の運営方法のあり方というものに対しての参考にはなると考えております。先ほど言ったように5カ年ということで考えてはおるんですが、新しい焼却場というものができる年数まで引っ張るような形になる場合も、時間的にはずれが出る場合もあると考えております。

以上です。

○議長（竹内清二君） 13番 沢登英信君。

○13番（沢登英信君） 結婚の祝い金につきましては、過疎化を、人口を増やしていこうという施策の一つであろうと思うんです。それが見込みよりも少なかったということで、非常にそういう意味では残念かと思いますが、これらの制度がぜひより多く活用されるような施策をとっていただきたいというのがお願いであります。

それから、新たに概要の7ページの下田TMO株式会社が解散をして、清算金が約半分ほど、100万のうち58万1,000円あったと、こういうことでございますが、そういう意味では旧町の活性化等を含めて、この一般の民間の方が、どっちかと言えば後者的な団体としてまちづくりを担当していこうと、こういう組織であったかと思うわけです。したがって、市も出演金というんでしょうか、100万出したと。これがなくなったということで、担う場所がなくなってしまうと、そういう事業を、市の活性化を担う民間の団体がなくなってしまうと、こういう捉え方を私はするわけですが、この解散についてどのようにお考えになっているのか、そして、またこれにかわるようなものをつくり上げていくような方向づけというのは、あるのかどうなのか、お尋ねをしたいと思います。

それから、先ほどの負担行為についてであります。中学校の利用は1年後でも差し支えないものをそこで想定するんだと、こういうご答弁ですので、1年後でも差し支えないものとは、どういうものを考えているのか明らかにしていただきたいと思うわけでありまして。

それから、可燃ごみの収集であります。経過からいきますと2つの業者が競争し合って、新しい業者にと、こういうことであったかと思うわけでありまして、ちょっと違っていたら訂正いただきたいんですが、8台からの収集車、あるいはそれを含まないと20人足らずの16人からの収集作業員と、こういう体制にだんだんなってこようかと思うわけです。こういう事業が3年ごとにA社、あるいはB社と繰り返すような形というのは、やがてこれは不安定な形になってしまうのではないかと。安ければいいんだというような形で、ただ単に安ければいいんだというような形でこの事業が展開されるとすれば、そのしわ寄せは市民に降りかかってくると、こういうことにやがてなるんだと思うわけです。やはり公的な形で業者の組合をつくって、これを安定的に運営していくというような、こういう仕組みが必要だと僕は思うわけです。この仕事の内容からいって、ただ競争させて、安くてサービスがよければいいんだと、こういう発想ではやはりまずいんじゃないかと、考え方を押し進めていったら、これはちょっと極端になり過ぎるんじゃないかと私は思うわけでありまして。これらの見解についてどういうぐあいにお考えになっているのか。

そして、なお、市へのじん芥処理場を委託したらいいか、自分ちでやったらいいかと、こういうことは自分達の知恵があれば、知恵者を借りて自ら判断をします。委託して判断してもらおうというような内容のものじゃないと僕は思うんです。何で自ら市がこの判断をしようとしなないのかと。そういう体制がないのなら、体制をつくったらどうだと、プロジェクトをつくったらどうだと、市長、思うわけです。こんな観光地下田にとって、清掃の仕事というのは大切な仕事なんです。それを一事業者はどうしたらいいか聞いて、その結論でやるんですよと。こんな無責任な姿勢でいいのかということを知りたいと思います。

○議長（竹内清二君） 産業振興課長。

○産業振興課長（長谷川忠幸君） 下田TMO株式会社の件でございます。

昨年、29年2月17日の全協でご説明したかと思っておりますので、その内容はちょっとご存じだと思いますけれども、要するにこの株式会社を立ち上げた経過としましては、まちづくりの補助金を活用して会社を立ち上げたということで、時代の変化によって株式会社の位置として補助金がうまく使えない状況になったということで、市としましてはまちづくり会社ということがないもので、何とか継続ということをお願いしたところではございますが、こういう結果となったということでございます。

今の状況からしますと、株式会社とかNPOというような元気な方が来て立ち上げてくれれば、市としても支援等していくということは可能であるんですけれども、なかなかそういう状況でない中、市としましてはいろんな協議会とか立ち上げながら、まちづくりについて今後考えていくということをご理解いただきたいと思います。

以上でございます。

○議長（竹内清二君） 統合政策課長。

○統合政策課長（黒田幸雄君） 1年後でも差し支えない施設とは何なのかというお話ですが、例えば、倉庫、書庫を平米当たり100万かけてつくるのかという話になりますので、現状の建物を活用してやっていくというようなことも考えられるわけですが、私ども職員の考えではその程度にまでしか及びません。ですので、プロポーザルでどういう提案をしてくれるのか、校舎、体育館、技術棟含めて、時間差にはなりますけれども、どういう活用があるのかということも含めて、プレゼンをしていただくようなお話になっておりますので、そういったことをご理解いただきたいと思います。

以上です。

○議長（竹内清二君） 環境対策課長。

○環境対策課長（鈴木芳紀君） 可燃ごみ収集の話で、入札における民間業者さんの競争で安価なものだと質が悪くなる、サービスも低下するのではないかというお話だと思うんですけども、今、現状1社の方にやっていただいておって、大きな問題があったとは思っておりませんし、新たに今年度からもう1社さん追加されて、その方がとられたんですけども、今までの蓄積された、そういうやられておった経験等、うちのほうが指導しながら同じような体系でこなしていただけるものと考えております。

続きまして、じん芥処理場の包括委託なんですけれども、結論はその会社に出してもらうわけではなくて、あくまで、委託名称にも書いてありますが、委託調査及び支援業務ですので、今現状どういう状態になっているのかと、あと、どういう社会情勢とか、どういう形が考えられるだろうかということをお話していただく。知識として、コンサルタントからもらおうと。それに対しての判断は、当然市がしないといけないと思っております。

以上です。

○議長（竹内清二君） 13番 沢登英信君。

○13番（沢登英信君） 要望して終わりたいと思います。

ぜひ私の意見も検討していただきたいということと、PFIの1市2町の件については、この下田賀茂地区におきましては、一部事務組合という形で協力体制を、いろんな事業展開をしてきていようかと思うわけです。ですから、PFIが困難になったからということで、清掃の関係でありますけれども、下田市が抜けるということになれば、先日の伊豆新聞等の報道でも、南伊豆町と松崎町での事業というのがなかなか困難になるだろうと、こういう報道もあったかと思うわけです。そういう点でいえば、広域でやるというメリットはないわけではないわけですので、その他の事業も、一部事務組合という制度で広域でやっている事業もあるわけですから、まず、そういう既に試し済みの仕組みで、清掃の問題を再検討してみると、こういうことが必要じゃないかと思うわけです。

ぜひともご検討いただきたいと、それで終わりたいと思います。

○議長（竹内清二君） 統合政策課長。

○統合政策課長（黒田幸雄君） 申しわけありません。

先ほど、「平方メートル当たり100万」と言いましたけれども、「坪100万」の間違いです。申しわけございません。訂正させていただきます。

○議長（竹内清二君） ほかに質疑はございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（竹内清二君） これをもって質疑を終わります。

ただいま議題となっております議第10号議案は、それぞれ所管の常任委員会に付託いたします。

次に、議第11号 平成29年度下田市公共用地取得特別会計補正予算（第1号）に対する質疑を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（竹内清二君） 質疑はないものと認めます。

ただいま議題となっております議第11号議案は、総務文教委員会に付託いたします。

次に、議第12号 平成29年度下田市国民健康保険事業特別会計補正予算（第5号）に対する質疑を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（竹内清二君） 質疑はないものと認めます。

ただいま議題となっております議第12号議案は、産業厚生委員会に付託いたします。

次に、議第13号 平成29年度下田市下水道事業特別会計補正予算（第3号）に対する質疑を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（竹内清二君） 質疑はないものと認めます。

ただいま議題となっております議第13号議案は、産業厚生委員会に付託いたします。

次に、議第14号 平成29年度下田市水道事業会計補正予算（第4号）に対する質疑を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（竹内清二君） 質疑はないものと認めます。

ただいま議題となっております議第14号議案は、産業厚生委員会に付託いたします。

○議長（竹内清二君） 以上で本日の日程は全部終了いたしました。

これをもって散会いたします。

明日1日はそれぞれの常任委員会審査をお願いし、本会議は2日午前10時より開催いたしますので、ご参集のほどよろしくお願い申し上げます。

なお、各派代表者会議を午前11時40分より開催いたしますので、代表者の方は第1委員会室にお集まりください。

お疲れさまでございました。

午前 11時31分散会